

令和8年5月28日

報道機関各位

富山大学と東京大学宇宙線研究所との
ハイパーカミオカンデ等における宇宙素粒子物理学研究
推進のための覚書 調印式について

ハイパーカミオカンデ計画は、東京大学と高エネルギー加速器研究機構を中核機関とする国際共同研究プロジェクトであり、2026年5月現在、世界23か国・約670名の研究者が協力して推進しています。岐阜県飛騨市の山中、地下600mにおいて、東京大学が中心となり、2028年の観測開始を目指し、次世代の素粒子観測装置「ハイパーカミオカンデ」の建設を進めています。

このたび、富山大学と東京大学宇宙線研究所は、ハイパーカミオカンデ実験の建設、運転および共同研究でもたらされる科学的かつ教育的効果の重要性を認識し、緊密な連携を図るため、覚書を締結するとともに、調印式を執り行いますのでご案内申し上げます。

つきましては、本件について取材・報道方よろしくようお願い申し上げます。

記

- 日時 令和8年6月4日（木） 9時 30分～ 10時 30分
- 場所 富山大学五福キャンパス災害対策プラザ2階（富山市五福3190番地）



- 出席者 富山大学長 齋藤滋
研究担当理事 酒井秀紀
理学部長 松田恒平
助教 中野佑樹

東京大学宇宙線研究所長 荻尾彰一

宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設長 塩澤真人

宇宙線研究所 教授 森山茂栄

■ 申込方法

別紙取材申込書に必要事項を記入の上、6月3日9時までに、富山大学総務部総務課広報・基金室までFAXにてお申し込みください。

富山大学と東京大学宇宙線研究所との

ハイパーカミオカンデ等における宇宙素粒子物理学研究推進のための覚書概要と取組み

1. 背景

ハイパーカミオカンデ計画は、日本をホスト国とする国際協力科学事業として、大型先端検出器「ハイパーカミオカンデ」の建設と、J-PARC大強度陽子加速器の増強により、前人未到の高精度でのニュートリノ振動の測定を実現する。さらに陽子崩壊の探索やニュートリノ天文学を展開する、素粒子・宇宙研究の国際的な基幹装置となる。

2026年度より実験機器（光センサーなど）の組み立てと地下水槽への設置を行

い、2028年に観測を開始する予定で

ある。内水槽に設置予定の50cm径光

電子増倍管20,000本は、神岡町にお

いて、保護カバーとの組み立て等を行

ったのち、地下水槽に取り付けら

れる。一方外水槽に設置予定の8cm

径光電子増倍管3,600本と反射シー

トは、富山大学において波長変換板

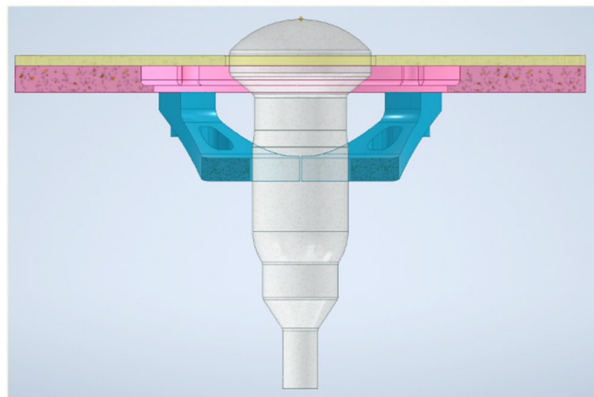
(30cm×30cm)との組み立て等の準備

(右図)を行ったのち、神岡に輸送

されて地下水槽に取り付けられる計画となっている。これらの作業には、国内外の

研究者と大学院生、委託業者が従事する予定である。

外水槽用3,600本の光センサーモジュール
8cm径光電子増倍管+波長変換板(30cm×30cm)+取り付け機器



2. 覚書概要

- a. タイトル「国立大学法人東京大学宇宙線研究所と国立大学法人富山大学とのハイパーカミオカンデ等における宇宙素粒子物理学研究推進のための覚書」
- b. 東京大学宇宙線研究所：富山大学に対し、ニュートリノなど宇宙素粒子物理学に関連した教育上および研究・開発上の支援を行う。
- c. 富山大学：ハイパーカミオカンデの地域の研究拠点として、東京大学宇宙線研究所及びハイパーカミオカンデ共同利用研究者に対し、共同研究・開発を行うため学内の実験室の利用等、研究・開発環境の支援を行う。
- d. 1年間有効とし、自動更新可能

3. 双方の取組みの例

- a. 東京大学宇宙線研究所は、富山大学を重要なパートナーと位置づけ、ハイパーカミオカンデ等の研究者が富山大学を訪問するなどにより、建設・運転・研究ならびにそれに伴う教育を推進する。
- b. 富山大学は東京大学宇宙線研究所に対し、上記作業等のためのスペースや国内外研究者の受け入れ、安全管理などの規則提供、宿泊の便宜、大学院生などの建設作業や研究への参加のサポートなどを行う。

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学 研究推進部 高度専門職（担当：高山）

TEL：076-445-6383 Email：3ren1080@adm.u-toyama.ac.jp

東京大学宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設 広報担当 武長

TEL：0578-85-9704 Email：kouhou@km.icrr.u-tokyo.ac.jp

別紙

取材を希望する場合は、本申込書を
6月3日（水）9：00までに
下記の宛先へ送付してください。

申込日：令和8年 月 日

富山大学総務部総務課広報・基金室

FAX : 076-445-6063

富山大学と東京大学宇宙線研究所との
ハイパーカミオカンデ等における研究推進のための
覚書調印式について
取材申込書

報道機関名： _____

取材記者名： _____ 様

連絡先： _____ (_____)

同行者（カメラマン等）： _____ 名（上記記者除く）

カメラ等の内訳（台数）： _____

（例）テレビカメラ 1台

【本件照会先】

富山大学総務部総務課広報・基金室

電話：(076) 445-6028

FAX：(076) 445-6063

E-mail:kouhou@u-toyama.ac.jp